

かかやき通信

2015.3
vol.11

彦根市立病院は、今年で創立124年です



琵琶湖の波を模したグリーンモニュメント

住みなれた地域で健康をささえ
安心とぬくもりのある病院

CONTENTS

あいさつ	1
健康講座の結果報告	2
知って得する病気の話	3
院内探検隊	5
ようこそ栄養科へ	6
看護部だより「スマイル」	7
院内楽楽(たのらく)通信	9
中野医師 南中で医師の仕事を語る	10
中学生の職場体験	11
名画劇場紹介	11
これであなたも10歳若返る!?	12
心臓リハビリテーションはいいことずくめ	13
建築家岡田新一氏を偲ぶ①	15
がん相談支援センターからのお知らせ	17
緩和ケアかわら版	18
院内助産所の紹介	19
受賞報告	19
医療社会部だより	20
部門紹介	21
くすのきセンター紹介記事	22

- 1 湖東保健医療圏の総合的医療センターとして高度な医療を提供する
- 2 安全性、信頼性の高い良質な医療を提供する
- 3 患者の権利と満足度に配慮した患者中心の医療を提供する
- 4 地域の病院・診療所と役割を分担し、保健・福祉分野を含めて連携・協力する
- 5 教育・研修機能をもつ地域に開かれた病院をめざす



患者さんの心の声を聴く



副院長 日村好宏
ひむら よしひろ

医療相談室では診療に対する不平や不満に対応しています。先日、通院中の60歳代男性から次のような苦情がありました。担当の医師が診察中に目を合わせることなく、ひたすらコンピュータの画面に向かって話したいことも言えず診察に満足できなかったというものでした。私も忙しい日常診療の中で同じような対応をしていることがあり、自分への苦情のようにも感じました。この事例は単

に電子カルテ導入による弊害の一つではなく、病気の診断に高度なテクノロジーが導入されたことにより患者さんの話を親身に聞かず、問診がなごりになっていることへの指摘ではないかと思えました。医師の中には、患者さんの話に耳を傾けることは時間がかかり効率が悪く、科学的な評価が難しいことから医療機器を用いたテクノロジーが充分に問診や診察の代用になると言う人もいます。しかし、医師が丁寧に行う問診は症例の70%に正しい診断を下すことができるといわれており、最も安価で強力な診療手段です。そして何よりも重要なことは、医師が細やかな感受性をもって問診を行うことで、患者さんに『思いやりのある医師』だと安心感をもってもらうことができ、このやりとりこそが相互の信頼関係を築くことにつながるのです。

我が国は少子超高齢化社会に向けて現行の医療の在り方を考え直す転換点に直面しています。高齢者の疾病の特徴は一つの臓器の異常ではなく多臓器に障害があり、日常生活行動の制限や認知症を合併するなど複雑で多様性があります。従って患者さん一人ひとりに寄り添った適切な医療の選択が求められています。医師は疾病だけに目を向けるのではなく、言い換えれば機能不全になった生物学的部品の一部分を扱う医療ではなく、患者さんの全人格的存在に全面的にかかわる医療を優先すべきです。

私は医師になって34年が経ちます。初期研修のころ指導医から、

「毎日最低2回は患者さんのところへ行き、座って目線を同じにして親身になり話に耳を傾けるように」と教育を受けました。医師として未熟な頃は当たり前のよう実践していましたが、専門の知識や技術が身につくに伴い、ややあそそかになってきたことは事実です。長年の臨床経験から医師の言葉の力や存在感は、私が思っている以上に患者さんやその家族への

影響が強く、時に薬以上の癒し効果や回復への動機になることを実感してきました。

医学教育の基礎を築いたウィリアム・オスラーは、「医学はサイエンスとアートである。サイエンスとしての医学は不確実であるからアートが大切である。まず何よりも患者のベッドサイドへ行き、疾患よりも患者の人となり把握することで病気の診断と治療が可能になる」と述べました。また、ケアーに優れた臨床医として名高いフランス・ス・ピーボディは、「患者を治療する秘訣は患者を思いやることである」と述べています。

科学としての医療が急速に進歩してきている時代のなか、医師が先端医療を駆使した技を磨くことは大切ですが、患者さんの心の琴線に触れるような問診の技を習得することが重要です。今こそ、妥協してはならない。医師の使命は、患者さんの立場に立つことであることを改めて自覚しなければなりません。

第16回健康講座

テーマ：《知って得する！オシッコにまつわるあんなこと・こんなこと》



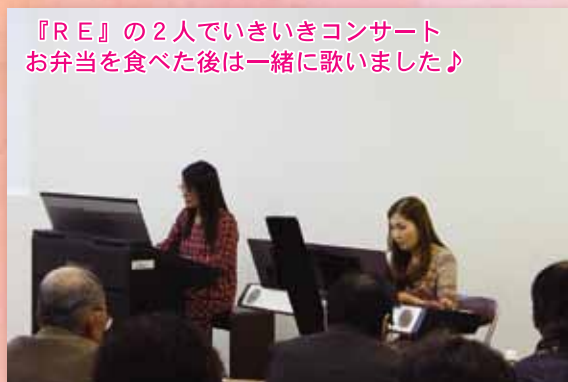
平成26年度12月6日に健康講座を開催しました。
満員御礼 ありがとうございます



受付初日から予約殺到。募集4日目にして
満員になり、予約待ちを含めると100人を
超える方より申し込みがありました。



健康弁当—地元の食材をふんだんに—
地元で取れた食材をたくさん食べて、
健康になりましょう！



『RE』の2人でいきいきコンサート
お弁当を食べた後は一緒に歌いました♪



夜間頻尿は歳のせいでは
ないですよ！

泌尿器科主任部長長谷医師、西村認定看護師
による講演も大変好評でした。



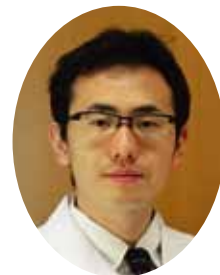
骨盤底筋を
鍛える事が大切！
体操を毎日続けましょう！

ワンポイント
アドバイス！

この「彦根市立病院健康講座」は彦根市民健康サポーターズ倶楽部と共催で、
年に3回開催しています。広報ひこねや、病院ホームページ、院内ポスターなど
でお知らせしていますので、興味をもたれた方は、是非ご参加ください。

☆知って得する病気の話

乳がんについて



外科医員
岡村 みる

見

乳がんって？

皆さんは乳がんについてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

「がんは治らない」「抗がん剤はしんどいし、手術は怖いし、治らないならやる意味ない」というネガティブな話をちらほら見たり聞いたりします。でも実状は違います。

乳がんについてもうちよつと正しいイメージを持つてもらえたらと思います、説明させていただきます。

乳がんの現状

1994年、がんの中で、乳がんを発症する率が胃がんを抜いて日本人女性のトップになりました。現在、日本人女性の14人に1人が人生のどこかのタイミングで乳がんを発症し、年間約6万人が乳がんになります。

乳がんになる率が最も高いのは、欧米では閉経後60歳以上ですが、日本では閉経前の40代後半～50代前半となっています。

25年前と比較すると乳がん発生の頻度は約2.5倍となり、増加は続いています。もはやよくある病気、一般的な病気といっているレベルになってきています。

しかし、乳がんで亡くなる率はがんの中では5位と比較的低めです。

乳がんのリスクファクター

乳がん発症のリスクを上げるものとしてほぼ確実なのは、①閉経後の肥満、②未産、③初産年齢が高い、④授乳経験なし、⑤乳癌の家族歴がある、⑥閉経後のホルモン補充療法の一部、⑦飲酒、⑧喫煙、などです。あと、確実ではありませんが、リスク増加の可能性として⑨受動喫煙、⑩夜間勤務、などが疑われています。

逆に、乳がん発症のリスクを下げるものとしてほぼ確実なのは、①初産年齢が低い、②授乳期間が長い、③閉経後の運動、などがあります。

検診

乳がんは、がんの中では比較的進行が遅く、お薬もよく効くものが多いので、『早めに見つけて』『早めに治療』すれば、治ってしまう方も多くおられます。

その『早めに見つけて』『早めに治療』を行うために、検診が重要となってきます。40歳以上の女性に2年に1回のマンモグラフィ検診が推奨されています。

欧米では1970年代よりマンモグラフィ検診を導入し、乳がんで亡くなる率の減少が確認されています。

日本では受診率が極端に低いことが課題となっています。前述したように、乳がんはめずらしい病気ではありません。「私は大丈夫」と思わずに、積極的に受診しましょう。

症状

痛みなどの自覚症状は早期であれば、ほぼありません。乳がんの症状として典型的なのは『硬いしこり』『乳頭からの出血』等です。

ほとんど症状がないのでまれに放置される方がおられますが、放っておくとしこりが巨大化し、乳がんが皮膚に出てきて出血したり、悪臭をとまったりします。また、治療の面でも、手術で取りきれないほど大きくなったり、他の臓器に転移してしまい、完全に治すことが不可能になってしまいます。

もし乳がんであれば、何もしないで「そのうち治る」ことは絶対にありません。むしろどんどん治る可能性が低くなります。



「乳がん」と診断されたら怖いな」と思い、病院に行くのが億劫になる、先延ばしにしたくなる気持ちもわかりますが、「早めに見つけて」「早めに治療すれば、完全に治る可能性があります。「しこり」に気付いたら怖がらずに、勇気を出して早めに病院に行きましょう。

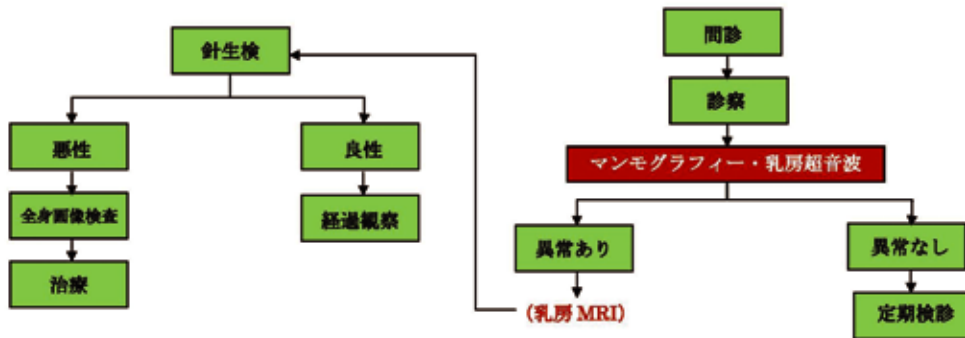
診察の流れ

受診されたら、まずお話を聞きます。

いつからどのような症状があるか、今までに大きなご病気をされたことがあるか、ご家族でがんの方がおられるか、などお伺いします。

次に診察をし、乳房とその周辺に異常な点がないかを診ます。またマンモグラフィ検査、乳房超音波検査

【診察の流れ】



を行い、画像上がんを疑うものがないかどうか診ます。疑わしい点があれば、OKです。引き続き定期検診、自己検診をがんばってください。

疑わしいものがあれば針を刺して乳房の組織を採り、病理の先生に病理診断をしていただきます。針を刺す検査の前に乳房MRIでさらに詳しく乳房内を調べることもあります。

病理診断の結果、良性であれば一安心してください。経過観察となり、年1回程度、外来でフォローします。

診断から治療へ

残念ながら悪性、がんと診断がついてしまうこともあります。落ち込んでしまうことはもちろんですが、あきらめる必要はありません。悪性の診断がついたら、CT検査等で他の臓器に転移していないかどうかを診ます。他の臓器に転移していなければ、手術、抗がん剤、ホルモン治療薬等で完治する可能性があります。

乳がんの種類、患者さんの状態に合わせて、最も良い治療を考えていきます。他の臓器に転移が見つかってしまっても、悲観することはありません。完全に治すことは困難ですが、病気をコントロールしていくことは可能です。

よく言われる、「病気と付き合っていく」ことになります。抗がん剤、ホルモン

治療薬で、がんを抑えていきます。乳がんの治療薬は近年どんどん増えてきていますので、長期間のコントロールを期待できることもあります。

最後に

いかがでしたか？乳がんのイメージを大体つかんでいただけたら幸いです。

乳がんは、よくある病気です。乳がんになることは恥ずかしいことでも何でもありません。早期に、適切な治療をすれば治る可能性のある病気です。発見が遅れたり、治療が遅れても、まだ方法はあります。

でも、恐れて逃げてしまったら、必ず負けてしまいます。「あれ？おかしいな、乳がんかもしれない」と思うことがあったら、勇気を出して病院に行きましょう。

最後に、私の好きな英語のことわざを引用して終わりたいと思います。

“Fortune favors the brave.” (運命の女神は勇者に味方する)

一緒に、乳がんに向かっていきましょう！

乳がん検診の促進と
早期発見の大切さを伝える
シンボルマーク「ピンクリボン」



◎院内探検隊◎

—小児科—

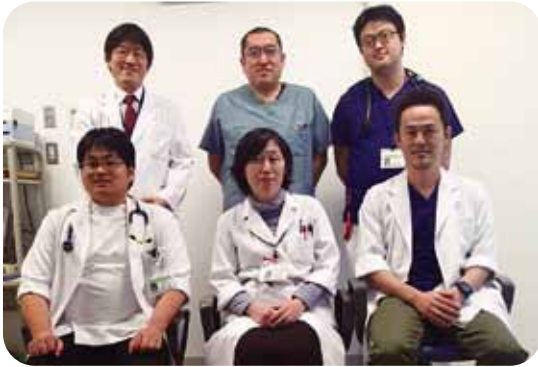
診療局長（小児科）
石上

毅

みなさんこんにちは。彦根市立病院の石上です。今回は主に当院小児科の入院診療について紹介したいと思います。

以前は、湖東地域では当院を含めて4つの病院で小児科入院診療が可能でした。しかしながら医師不足の影響もあって、現在では当院だけが入院診療を行っています。

当科では6名の小児科医師が協力し、近隣の病院、彦根市休日急病診療所、開業の先生方と役割分担をして、主に中等症、重症の患者



さんの診療にあたっています。

小児科の入院患者さんは4B病棟で治療します。感染性の病気の患者さんが大多数です。予防接種の拡充・普及で感染症は全般に減少傾向ですが、予防接種のないRSウイルス感染などは今冬も大流行しました。生後数か月以内の赤ちゃんは特に重症になりやすく、おおぜいの方が入院されました。院内感染を防ぐために感染性の病気の患者さんにはできるだけ個室に入っていた、できるように配慮しています。感染症以外では、食物アレルギーの患者さんの増加に対応して食物アレルギーの負荷試験も積極的にを行っています（次ページを参照ください）。重症の患者さんは、麻酔科医師の協力のもと、集中治療病棟（ICU）で治療させていただいています。

現在当院での分娩は院内助産所のみとなっていますが、近隣の産科医院と連携して、入院を要する赤ちゃんを当院で治療しています。

症状の安定した患者さんが遊んでいた、できるように、病棟内にプレールームを



設置しています。

また、比較的長期の入院を必要とする小学生に学習の場を提供するために、病棟内に彦根市立金城小学校分教室を設置しております。専任の先生の学習指導を受けていただけます。整形外科など小児科以外の科の入院患者さんも入級していただけています。中学生の場合は、滋賀県から先生を派遣していただける制度があります。

湖東地域の小児科の救急車搬送はすべて当科において24時間体制で受け入れています。

こども110番を担う決意を忘れず、常に質の高い医療を提供したいと考えています。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



救急外来の入口にて

ようつと栄養科へ

小児食物アレルギーについて

当院では食物経口負荷試験を実施しています。食物経口負荷試験は、食物アレルギーの診断をつけたり、食物アレルギーが良くなったのかを確認するためにを行います。専門の医師のもとで、実際に食物を摂取していただき、アレルギー症状の出現を観察します。なお、軽症の患者さんの場合は外来での食物経口負荷試験を実施しています。

【入院(日帰り)での食物経口負荷試験】

以前は病棟のスタッフステーションで負荷食品の準備を実施しており、作業が煩雑で衛生的に十分といえない状況でした。衛生的な調理や適正な計量を実施するため、平成25年7月から、栄養科で調理・提供するようマニュアルを作成しました。平成26年4月から12月は負荷試験実施数が61件でした。



入院中は、規定量の負荷試験食品を数回に分けて食べていただきます。アレルギーを持ったお子さんが初めて口にする食品であるため、おいしく、食べやすい物を提供することを心がけています。

負荷試験食品の種類

卵 (ゆで卵の卵黄・ゆで卵の卵白・いり卵・ホットケーキ)



小麦 (食パン・うどん)



牛乳



ごま (おにぎりにして提供)



その他 (上記以外の食品でも個別対応を行っています)

入院中に、負荷試験食物とバランスの良いお食事について、栄養士が説明に伺います。

3. 普段のお食事について
★ 食事は、主食・主菜・副菜を組み合わせ、バランスよくたべましょう！

主菜: 主にたんぱく質の多いもの
肉・魚・大豆製品など

主食: 主にエネルギー源になるもの
ごはん・パン・めん など

副菜: 主に体の調子を整えるもの
野菜・海藻・きのこ・油揚げ(大豆製外)・果物など

たんぱく質を摂ろう!

たんぱく質は、体の組織をつくるために必要です。不足すると、体の機能が低下し、病気になりやすくなります。

栄養指導時に使用する資料

栄養科・栄養治療室のメンバーです！



【外来でのアレルギー栄養相談】

小児科医師の指示で、外来でのアレルギー栄養相談を実施しています。子供は成長に必要な栄養を摂取し、楽しく豊かな食生活を送ることが大切です。そのために、原因食物がどのような食品に含まれ、何を除去するべきかご理解いただけるように説明をしています。

☆よくあるご質問☆

- ・ バランスの良いメニューが知りたい
- ・ 卵に代わるたんぱく質として他にどんな食品があるのか
- ・ 食事量は足りているか



看護部だより 「スマイル」



皮膚・排泄ケア認定看護師
北川 智美

日本では、入院患者さんの療養生活上において、様々な面から安全でより良い医療を受けられるように厚生労働省から対策に取り組むように指導が出されます。その昔、寝たきりになってしまうと、大きな床ずれがお尻や足に出来てしまうということがありました。私は、その床ずれの管理を行うために必要な資格を持った日本看護協会認定の皮膚・排泄ケア認定看護師です。

より重症な患者さんであっても、それでも床ずれを作らないことを保証できる病院を職員と一緒に整えています。例えば、看護師たちは患者さんの体を清拭^{せいしき}し、保湿を行うことをとても丁寧にできます。また、オムツを使う場合も清潔に、不快が少なくなるように研修を行っています。それらの

現場の実績が結果となり、全国の病院機能評価においては、彦根市立病院の医療の提供体制の中で褥瘡^{じよくそう}に関する項目は最高のランクと高く評価されました。

また、昨年度からは、在宅で療養されている患者さんへ「専門性の高い看護師の在宅訪問」も行っています。普段は病院にいる認定看護師が自宅に訪問して床ずれを治すためのアドバイスを行っています。

床ずれの中には、傷の中の悪い組織の部分を



在宅で訪問看護師と同行訪問を行い
ケア指導実施

外科的に取り除く必要がある場合もあります。しかしその患者さんを病院まで連れていくことは、困難である場合があります。そのように、在宅での必要な医療を提供できることを目指して、厚生労働省は、看護師が特定行為を研修することで、一歩踏み込んだ、その場に必要医療を提供できるような教育を2015年から開始します。

私は、すでに厚生労働省の試行事業に参

加し、外科的な項目のトレーニングを受けられました。

これらの技術が、在宅で療養を続けたい患者さんを支えることができると信じて、今後も研鑽努力を重ね、後輩育成も行っていく予定です。

傷の外科的な処置を行う
(特定行為実施)



一人の患者さんの問題も
多職種で治療

認定看護師は、これからの地域医療において必要な現場に知識と技術をもっておいし、住みなれた環境で、患者さんの健康を支えることに力を注いでまいります。

院内楽楽通信

2014年

欧州心臓病学会学術集会に参加して



循環器科 部長

下司

徹

この度、2014年8月30日から9月3日にかけてスペイン、バルセロナで開催された2014年欧州心臓病学会学術集会に演題採択され、ポスターセッションでの発表を行う機会を得ることができました。

欧州心臓病学会学術集会は、循環器領域では世界最大規模の学術集会で、今年も3万人以上の循環器分野の医師および研究者の参加があり、ヨーロッパだけでなく、北



ポスター発表



ESC2014会場内の風景

南米、アジア、アフリカからの参加者で熱気に満ち、また日本人の参加もこの数年増えているとのこと。さすがヨーロッパという感じで学会会場が想像とは全く異なり、まるでアート空間のような洗練された雰囲気であり、またその規模に大

変圧倒されました。

我々の施設ではコメディカルの方々の協力のもとに、年間300例以上の経皮的冠動脈インターベンション（PCI）を施行していますが、一般に手技に伴い一定の合併症（心筋梗塞、血栓症、心血管損傷など）が生じるため、近年は医療費削減の面からも適切な薬物療法の重要性が見直されています。これは、冠動脈狭窄を冠動脈造影のみの視覚的な評価だけでなく、プレッシャーワイヤーという特殊なガイドワイヤーで冠動脈の内圧を測り、血行動態的にも有意な狭窄なのかどうか判断した上で、適切な薬物療法にPCI治療を追加するかどうかを決定した方が長期的な予後が良くなるという報告に基づいています。私の研究は、このプレッシャーワイヤーを用いて冠内圧を測定する際に用いる薬剤の有効性とその薬剤をどのような場合に使用すると良いのかを明らかにしたものでしたが、今回は心強いことに隣国の発表が日本人であったこともあり、何とか無事に発表を終えることができました。国際学会では、せっかくの機会なので、口演や大規模臨床試験の発表を聴いてみようと思うのですが、聞き取りが困難なところも多く、英語力の無さをいつも痛感します。一方でポスター発表はマイペースに興味のある分野の最新の知見を見て回ることができ、自分もヒントを得て何か形にできたらと大いに刺激を受けました。

さて、今回の会場となったスペイン第2の都市であるバルセロナには現在も隣町のタラゴナで育った天才建築家、アントニオ・ガウディの作



妻と
サグラダ・ファミリアを背景に

品が多く残っており、着工してから130年以上経った今も未完成のサグラダ・ファミリア（2026年に完成予定だそうです）をはじめとして多くが世界遺産に登録されています。

バスや地下鉄を駆使して街中をワクワクしながら散策しましたが、目の前に広がる景色は当然のように見るもの見るもの全てが絵になり、建物ひとつひとつが洗練されていて、もともと建築関係の仕事に憧れていた自分にとってはある意味学会以上に大変興味深いものでした。



ランブラス通り

ガウディは常々

『美しい形は構造的に安定している。

構造は自然から学ばなければならない。』と言っていたそうで、柱からステンドグラスに至るまで全てが曲線で造られており、凡人の私には到底思いもつかないような斬新なデザインでした。また、バルセロナは地中海有数の港町でもあり、新鮮なシーフードが豊富で食事も堪能できましたが、唯一心残りだったのは世界有数のサッカーリーグに所属するFCバルセロナの試合が滞在期間中に観戦できなかったことでした。息子に頼まれたFCバルセロナのユニフォームをお土産に、いつの日かまた機会があれば是非訪れたいと思った素晴らしい学会参加となりました。

最後に、今回このような貴重な機会に学会参加に許可をいただいた金子院長、また快く送り出してくださった日村副院長をはじめ、代診をいただいた循環器の先生方に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

休日



トレジャーハンター!?



皮膚科 医長

山本 文平

私は休日に時々山に登っています。即物的な私は山の自然を楽しむのみでは飽き足らず、自然の一部を切り取って持ち帰るのが好きな似非ナチュラリストです。魚、木の实、貝、山菜、etc.



湖南の山で掘っているところです。一心不乱な私です。脳神経外科の先生が撮影しました。

面白そうなものを持って帰って食べて飾っ

て?...。そんな私が出会ってはまってしまったのが「鉱物」。もともとは学生時代に砂金を掘り始めたのですが、次第にきれいで管理が楽な「宝石」探しにとりつかれてしまいました。



けもの道を進んで尾根に出たところで子供とごはんです。

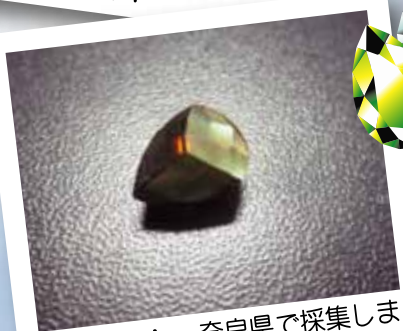
実は滋賀県は昔、湖南でトパーズという宝石が多産し、宝石掘りのメッカと言っても過言でない場所なのです。同じ趣味の人ならだれでも知っている有名産地もいくつかありますが、まだ誰も見つけていない鉱脈を探すべく奥地へ探検します。自分ではインディージョন্ズのつもり、でもすごいお宝はなかなか映画のようには発見できません。さらにダニ、蛭、蜂、蛇、蚊に襲撃されます。これは映画よりはましですね。鉱物を見



アクアマリン 湖西で採集しました。少し、小ぶりかな?



トパーズ 湖南の山で発見!



ガーネット 奈良県で採集しました。カットしてみました!



水晶たち 一度に数十本出たうちのいくつかです!

つけるために山へ来たのに、いつの間にか体についたダニや蛭を必死になって探している自分があります。山へ行くといつも下ばかり見て歩いているので紅葉に全く気付いていないなんてこともあります。地面の色、含まれている鉱物の混合比、割れ方、地形などから有望な斜面を見つけていきます。その中の自慢の?石たちです。

診療現場ではひたすら皮膚を「診て」いる私ですが、私は山の皮膚を「診る？」のが少しずつ得意になってきました。治療はできませんが……。山の地形を「見」ただけで、掘るべきところが大体わかる神様のようなトレジャーハンターも存在するようで、私はまだまだと思います。知らされてばかりの日々です。「家の掃除をしない」という嫁はんや、「遊びに連れて行け」という子供に翻弄されながらも、人の皮膚科、山の皮膚科ともにレベルアップしていきたいと思っています。



■ 中野医師、南中で医師の仕事語る ■

平成27年1月23日（金）に彦根市立南中学校で行われた進路学習に関する講演会「仕事人と語ろう」に、本院の中野医師（循環器科主任部長）が招かれ、講演を行いました。



医者になろうと思ったきっかけは漫画の「ブラックジャック」でした。そのため、医学部のある大学の試験に受かるため、今までで一番勉強をしました。ただ、医者になってからも医学の進歩はめざましく、今でも勉強はずっと続けなくてはならないと思っています。今の仕事で最も大切なことは「患者さんの話をよく聞いて信頼関係を作ることだ」としています。そのために患者さんの所へ一日2回、必ず行くようにしています。

《皆さんへのアドバイス》

- ①職業を選ぶのにかっこいい理由はいらない。なりたい職業が見つからなくてもあせらなくていいですよ。
- ②何の職業でも、コミュニケーション能力を高めることは大事。そのためには国語と英語をしっかりと勉強しよう。
- ③自分を信じて、あまり他人と比較しないようにしよう。



《生徒さんの感想》

- ・『他人と比べない』という話を聞き、私も他人と自分を比べず、自分に自信が持てるようになりたいと強く感じました。
- ・患者さんの病気が治って笑顔になる姿が見たいという気持ちがすごくかっこいいと思いました。
- ・医師の仕事は勤務時間が長く、勉強だけでなく気力・体力が必要になるということを初めて知りました。



お互いに血圧を測りあいます(看護部)

中学生の 職場体験

日程

- 1 日目：病棟実習
- 2 日目：病棟実習
- 3 日目：臨床工学科実習、施設見学
- 4 日目：臨床検査科実習
- 5 日目：薬剤部実習、リハビリテーション科実習、放射線科実習



リハビリで使う道具を体験(リハビリテーション科)

平成26年7月3日(木)～9日(水)の5日間、彦根市立東中学校の2年生、5名の方が、本院で職場体験をしました。参加された生徒さんは、通常経験できないことも含め、医療に関する様々な体験を行うことで、新しい発見や感動があったようです。以下が感想の一部です。

担当の看護師さんが「患者さんから元気をもらっている」と言っていたことが印象的。
看護師さんと患者さんはお互いに支えあっているように感じた。

血液型測定やリハビリ、放射線科での体験が特に楽しかった



心臓マッサージ、AEDの使い方を学びます
(臨床工学科)

看護師の方々の、患者さんと向き合う姿にとっても感動した

様々な職種の人がいるから、病院が成り立っていることが分かった

実習で心臓マッサージなど人を助ける方法を身に付けられ、自信がついた。



初めて持つ薬品に緊張…(臨床検査科)

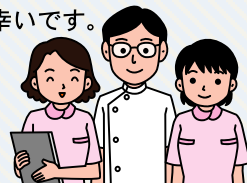


大量の薬品の中から、リストに合う薬を探します(薬剤部)



大きな医療機器を間近で見学します
(放射線科)

職場体験を通して学んでいた
だいたことを今後の経験や将来の
進路に結びつけてもらえたら幸いです。



彦根市立病院 名画劇場

平成26年9月より週に一度、さまざまな和洋名画を当院会議室にて上映しています。

入院患者のみなさんに若かりし頃を思い出していただき、
少しでも元気を回復し楽しんでいただきたいとの思いで企画いたしました。



9月、10月、11月は上記の映画を上映いたしました。

青い山脈、ローマの休日、東京物語、男はつらいよ、ファインディングニモ、となりのトトロ、アイスエイジ2

各映画のDVDは当院の花いっぱい活動を行っている『う・フルールの会』と有志が購入し提供しています。他にたくさん
の名作を用意していますし、歌謡ショーや落語なども予定しています。

各フロアの掲示板にてポスターで上演内容、場所、時間をお知らせしています。

看護師、図書司書、県立大学看護学生のボランティアグループ『看護未来塾』スタッフ、循環器科医師がサポート
していますので安心してお楽しみください。

多くの方のご来場をお待ちしています。

これであなたも10歳若返る!?

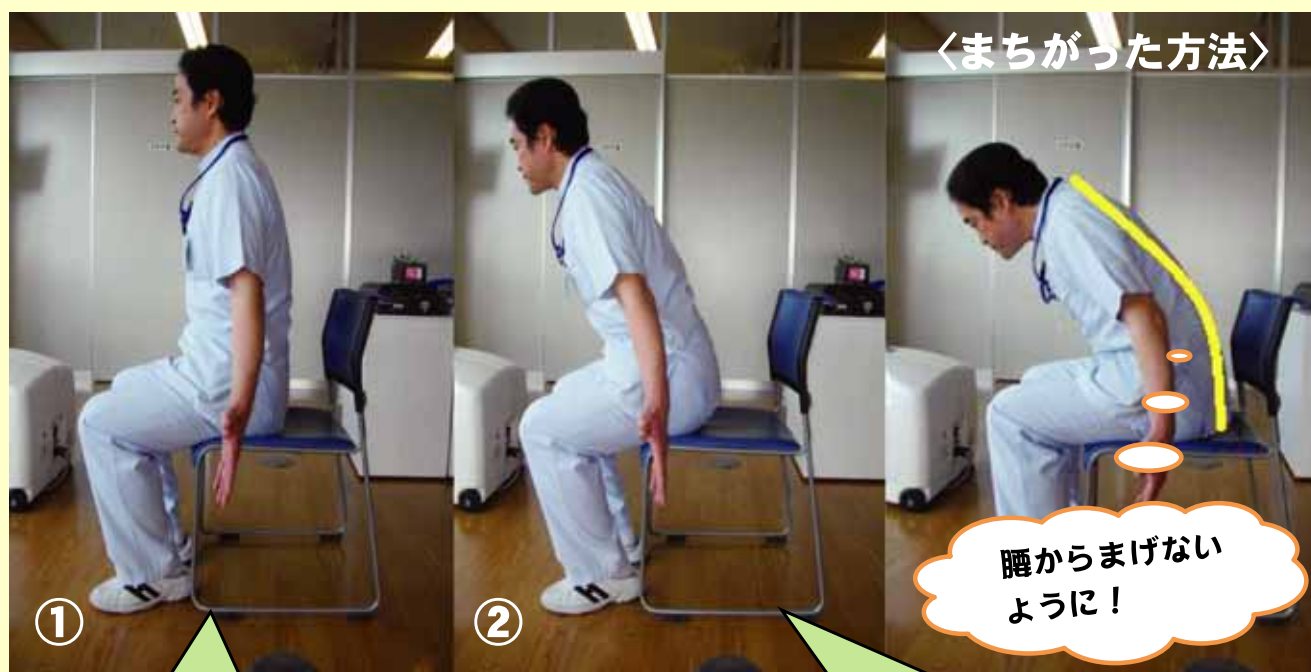
腰痛予防体操

文とモデル リハビリテーション科 鳥本 茂

その9～体幹筋(腰・お腹・背中)・両脚のトレーニング step5～

春といっても、朝夕はまだまだ冷え込む今日このごろです。寒い間、皆様、運動は続けていただけたでしょうか。今回は座った位置での体幹筋のトレーニングを紹介いたしましたが、今回は、さらに体幹と両脚を連動させてトレーニングすることを紹介いたします。この運動を行うことで、体幹の安定性が増し、さらに脚の力がつきます。立ちすわりが安定してできるようになる効果と、立ちすわりのとき腰を曲げることが少なくなりますので腰への負担も減る効果があります。

<体幹と両脚のトレーニング>



①写真のように椅子に少し浅めに腰掛け、背筋は立っている時と同じように起こします。両脚は肩幅くらいに広がります。脚を開けすぎたりあるいは閉じたりしないよう注意します。次に手のひらを正面に向け腕を伸ばして横に30度くらいに広げて止めます。

②写真のように、腰、背中が曲がらないよう股のところから体を前に45°くらいまで傾けて止めます。この位置を8秒ほど保持します。次に体を起こしていき元に戻します。これを休憩しながら8回ほど繰り返します。

実施回数

この運動を8秒8回、休憩を入れて2～3回実施してみてください。運動は、週3～4日行くと効果的です。

※現在治療中の方は必ず医師の指示のもと行うようにしてください。また、血圧の高い方は無理のない範囲で行ってください。

Q2. 心臓が悪いのに運動をしても、危険はありませんか？

答え：もちろん危険がないわけではありません。

特に心臓病の患者さんが自分勝手に強すぎる運動や仕事をするのは大変危険です。しかし、逆に怖がって安静にしすぎるのも、健康上よくありません。そのため、心臓リハビリでは、医師や看護師や理学療法士がいるところで、心電図や血圧の状態をモニタリングしながら、運動をしてもらいます。

また、年齢、疾患、体格などにより、運動能力/心肺機能といたものは変わってくるので、CPXといった検査を施行し、患者さんに見合った運動処方をしていきます。



Q3. 今でてきたCPXとはどういう検査ですか？

答え：心肺運動負荷試験（Cardio Pulmonary exercise test）といって、心臓、肺機能などがわかる検査です。

人間は運動が強すぎると乳酸といった毒素が体内に蓄積されます。

このCPXでは、どれくらいの強さの運動で乳酸がたまるのか（嫌気性代謝閾値AT: Anaerobic Threshold）が、吐いた息の酸素濃度や二酸化炭素濃度などを測定することによりわかります。

患者さんには、乳酸がたまらないような強さの運動で心臓リハビリをしていただきます。



Q4. 実際の心臓リハビリプログラムの内容を教えてください。

答え：外来1階にあるリハビリテーション室で行います。主に、理学療法士の指導を受けながら、歩行・自転車こぎ・エアロビクス体操などを1回45分～60分行います。

並行して、運動前後に栄養指導、薬剤指導、生活指導といったものを行います。週1～3回、3～5か月間、外来心臓リハビリに通院していただきます。

高齢で足腰が弱い患者さんでも、すごく弱い負荷でこげる高性能の自転車がありますので、安心してください。80代の患者さんや膝腰に持病がある患者さんも現在元気に通院されています。



《最後に》

当院ではH26年6月から心臓リハビリを開始しておりますが、すでにたくさんの心臓病の患者さんに利用していただき、好評を得ております。

心臓リハビリテーションに興味を持たれた、心臓病を持病にもつ患者さんは、当院外来1Fリハビリテーション科の受付にお越しいただきましたら、いつでもスタッフが見学、予約といった対応をいたします。

なお、予約が満員の場合はご希望にそえない場合もありますので、何卒ご了承ください。

「心臓リハビリテーションはいいことずくめ!!」

心臓リハビリとは、心臓病の患者さんが快適な社会生活/家庭生活を過ごしていただくため、さらに病気の再発予防を目指して、適切な運動療法、栄養指導、薬剤指導、生活指導といった活動を行うことです。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、生理検査技師などがチームを組んで、患者さんの心臓リハビリを援助していきます。

心筋梗塞、狭心症、大動脈解離/大動脈瘤といった大血管疾患、開心術後、心不全、閉塞性動脈硬化症、といった心臓病の患者さんが心臓リハビリの対象となります。



循環器科 医長
すぎもと 相本

あきら
晃

心臓リハビリチームです

理学療法士



病棟看護師



医師



薬剤師



生理検査技師



管理栄養士



今までの医療



手術・薬の処方

心臓リハビリ



運動療法

食事療法

生活習慣の改善

Q1. 心臓リハビリをすると、何か良いことがありますか？

答え：はい、いいことずくめです。

①適切な運動をすることで心肺機能や運動能力が高まる。

→日常生活において楽に活動できるようになる。心不全症状（息切れ）が軽くなる。

②血管内皮細胞機能の改善→血管が広がり、手足が温かくなる。狭心症状（胸痛）が軽くなる。

③自律神経機能の改善→不整脈が減り、血圧の変動が減る。

④抗炎症効果、抗酸化作用。

⑤善玉コレステロールが増える。

⑥骨格筋の糖代謝・脂質代謝の改善。

} 動脈硬化の改善・予防

⑦骨吸収抑制・骨形成促進：骨折の予防。

⑧脳内エンドルフィンの放出促進：気分が晴れやかになる。

⑨運動以外にも、栄養指導、生活指導、薬剤指導を行うため、糖尿病、高血圧、脂質異常症、喫煙といった動脈硬化の原因となる疾患もコントロールできる。

岡田新一先生を偲ぶ①



顧問（元院長）

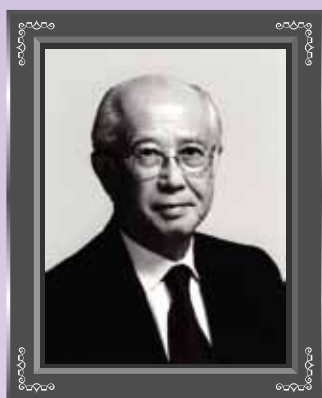
林 はやし

進 すすむ

彦根市立病院の設計者である建築家の岡田新一先生が、去る平成26年10月27日にお亡くなりになりました。謹んで先生のご冥福をお祈りいたします。

この計報は、先生のご遺影とともに全国紙で報じられ、先生の業績についても紹介されました。

故 岡田新一先生



風格ある作風で知られる有名な建築家

岡田先生は、日本芸術院会員で、代表作として最高裁判所庁舎、警視庁本部庁舎、東大医学部付属病院、岡山オリエント美術館などがあります。重厚で品格のある公共建築の設計者として定評がありました。最高裁判所庁舎については世界的建

築家、丹下健三さん（都庁を設計）のチームを抑えての入選で注目を集め、同庁舎は昭和50年に日本建築学会賞に選ばれました。平成15年から高松宮殿下記念世界文化賞の建築部門の選考委員もつとめられたそうです。余談ですが、当院の設計が岡田新一先生に決まった時、市建設部の病院担当者が心配したのは「あんなに偉い先生がわれわれ現場の意見を、果たしてどこまで取り入れてくれるだろうか」ということだったそうです。

最高裁判所庁舎



東大医学部付属病院



二つのステージの連結点としての設計者の選抜

本院は平成14年7月、移転新築されました。移転新築の経緯は二つのステージから成り立っていました。第一ステージは、新しい医療の展開には、病院の移転新築が必要であることの理解と協力を得ることであり、ソフトウエアのステージとも言えます。第二ステージは、その構想の実現のための病院建築で、ハードウエアのステージとも言えます。病院設計者の選抜は、まさに、この第一ステージと第二ステージの連結点にありました。設計者の選抜は社名を伏せたコンペ方式により、応募100社余りの中から19社が選ばれ、さらに

5社に絞り込まれました。選考委員は市民代表、有識者、市当局者と病院長でした。5社の設計提案は、さすがにどれも立派なものでした。委員からそれぞれの立場からのそれぞれの意見が出され、白熱した議論となりましたが、有難かったことは、議論の最後には「病院長はどう考えるか」という言葉をしばしばいただいたことです。数回の投票を含む慎重な審議の結果、選出された社名は岡田新一設計事務所でした。

平成10年11月14日でした。

岡田先生とスタッフが市立病院に初めて挨拶に来られた時、まず彦根を俯瞰的に知ってもらいたいと、当時の彦根プリンスホテルの最上階のレストランにご案内いたしました。おりしも午後夕刻近く、水面はブルーに落日に映える雄大な琵琶湖、彦根城、竹生島、比良、比叡の景観に、一同立ち上がって窓に寄り感嘆と歓声を上げられました。冬にはこの景色は一変すること、またこの地をめぐる戦国動乱の歴史なども紹介しました。



琵琶湖の波をイメージしているモニュメント



彦根城の天守閣や兜をイメージしている上部の外観

そこで、私は、岡田先生に、病院の構造は機能に徹して欲しい、そして「機能美」を追求して欲しい、新しい彦根市立病院のコンセプトにはあらゆる意味で「質実剛健」がもつとも相応しいと考えます、などと申し上げました。この間、岡田先生は笑みを絶やさず聞いてくださいました。その後、岡田先生より「経験したノウハウも十分提供して、満足してもらえる設計をしていきたい」旨の心強い手紙をいただきました。

こうして市立病院移転の第一ステージは締めくくられ、第二ステージへと移行することになりました。

移転新築「第一ステージ」についての補足

私が彦根市立病院に着任したのは昭和57年でした。その当時で、すでに病院は100年を経過しようとしていました。昭和61年、「彦根市立病院の現状、課題および今後の事業計画」として病院の移転改築が必要であることを市に提出しました。これが、「第一ステージ」の始まりでした。



移転前の彦根市立病院
(本町二丁目)

唐突であり、あまりにも財政負担が大きいくとして、当初、反応は全くと言っていいほどありませんでした。あきらめずに、将来の地域医療の展開

にこの構想は必要不可欠であることを市民、行政、医師会、大学などの関係者に説いて回ったところ、まずは、身近な方たちから徐々に理解され、その方たちがさらに輪を広げてくださり、ついには広く応援をいただけるようになりました。その後の病院の経営方針の基本を、この「将来構想の実現」の一点に絞りました。

平成6年8月には、滋賀医科大学長の佐野晴洋先生を委員長に「彦根市立病院基本計画検討委員会」が設置され、この事業計画は現実のものとして認知され、動き始めました。紆余曲折がありました。が、平成10年11月に岡田新一設計事務所への選出にまで漕ぎつけ、第二ステージにバトンタッチできました。



建築中の
新彦根市立病院



新病院の外観

- ・新病院の設置位置は真の東西南北で、まわりのどの道路や建物にも並行していない。
- ・四角の外観で無駄なスペースがなく、効率的に設計されている。

岡田先生は、40年にわたる病院設計の作業をまとめた著作「病院建築―建築におけるシステムの意味」を出版されておられます。数ある先生の作品の中で、五作品が代表格として扱われていますが、その中に、東大医学部付属病院、横浜労災病院、都立豊島病院、初台リハビリテーション病院と並んで彦根市立病院があげられています。嬉しい限りです。

平成17年2月には、滋賀医科大学大付属病院の再生事業のプロポーザルが行われ、岡田新一設計事務所の提案が最優秀として選ばれたそうです。先生のご冥福をお祈り申し上げるとともに、岡田新一設計事務所ますますのご発展を心から祈念するものです。

第二ステージについての様子や当院の建物の特徴やそれに込められた数々の思いについては赤松信名誉院長（当時副院長）、山本茂春さん（現彦根市都市建設部 副参事）、山口昌宏市立病院事務局長（当時新病院新築移転準備室）に話を伺いましたので、次号に紹介する予定です。



現在の病院の外観を眺めながら、建設当時を語り合う
左から山口次長、山本副参事、林顧問

1Fから2Fにかけてのエスカレーターの上
部壁面のタペストリーは岡田事務所からの
寄贈品



平成26年度がんに関する 研修会・講演会等の実績と予定

がん相談支援センター

～医療者向け研修会～

平成26年7月24日(木) 「胃がんの早期診断と治療について」 内科 杉谷義彦医師
「外来化学療法における看護師の役割と当院の取り組み」
通院治療センター 吉川裕美看護師

参加者：医師9名、看護師13名、その他5名

平成26年9月6日(土)・9月7日(日)

「滋賀県緩和ケア研修会」

受講者：A研修15名、B研修16名

平成27年3月20日(金) 「がんに関する放射線治療について」 京都大学医学部附属病院 飯塚裕介医師
(予定) 「緩和ケアについて」 がん相談支援センター 秋宗美紀看護師

「滋賀県緩和ケア研修会」



～一般市民向け講座～

平成26年8月27日(水) 「前立腺がんについて」 ～がんもどきから本物まで
泌尿器科 長谷行洋医師

参加者：68名

平成26年11月15日(土) 「彦根市立病院がんフォーラム」

健康推進課 田川佳名子保健師、内科 永岡真医師、
外科 龍見謙太郎医師

参加者：118名

「市民公開講座～前立腺がんについて」



27年度も引き続きがんに関する研修会、講演会を開催しますので、
皆様のご参加をお待ちしています。



緩和ケアがわら版

「がんストレス外来」の開設のお知らせ

平成27年4月から毎週火曜日午後（予約制）に「がんストレス外来」を開設することになりました。今や二人に一人ががんになる時代です。

がんという病気になると、治療や代替療法（免疫療法や健康食品など）の悩みや将来への不安、さらには家族の心配等々、様々な問題を抱えることになります。

その上、治療によりがんがよくなったと思っても、またいつ再発するかわからないという不安もあり、それを予防するにはどうしたらよいのかといった悩みを持っている方も少なくありません。

この外来では、そのような患者さんやその家族の抱えている悩みや問題についてじっくりお話を聴かせていただき、その解決のための支援をさせていただくためのものです。

がん患者さんやその家族の方であればどなたでも受診できます。どうぞ気楽においでください。

なお完全予約制になっておりますので、受診希望の方は（電話 0749-22-6050）で「がんストレス外来」の予約（受付時間 平日の9：00～16：00）をお取りください。



緩和ケア科の黒丸です。
患者さん、家族の方の立場に立って、一緒に考えていきたいと思っています。



緩和ケア科 行事報告

家族会の開催



緩和ケア病棟では毎年秋に、前年度に緩和ケア病棟でお亡くなりになられた患者様のご遺族を対象に家族会を開催しています。平成26年度は、14家族（29名）の参加がありました。

入院患者さんとの思い出の写真をスライドショーにして、ご遺族と共に故人を偲び、ボランティアで来てくださった俳優さんのお芝居、シャンソン歌手の方の歌声にこころを癒され、温かい時間を共に過ごすことができました。中には「家では泣きたくても泣けず、ここに来て、泣くことができ良かった。明日からまた頑張れる」と言ってくださるご遺族もいらっしゃいました。

大切なご家族の死を受け入れ、乗り越えることはとても困難なことであると思います。私たち緩和ケア病棟スタッフは、少しでもそんな家族により添い、お手伝いできればと考えています。

足湯をしながらつぼマッサージをしています



みなさんに知ってほしい！

院内助産所

— 妊婦出産編 —

お兄ちゃんに見守られながら赤ちゃん誕生



自宅にいるようなお産のおへや



院内助産所のお産は入院からお産後までずっと二人の助産師が産婦さんに寄り添います。

お産は産む人が一番楽で自由な姿勢で行います。

妊娠中に作成した産婦さんのバースプランをもとに、産婦さんご家族が望むお産をお手伝いします。

異常が予測されるときは、産科医師・小児科医師がついていてくれます。

みなさん笑顔いっぱいの楽しいお産です。ここで産んでよかった！と言ってください。

元気いっぱいのおぶごえしあわせママパパ



助産師はご家族そろって、いのちの誕生を迎えられるよう妊婦さんとご家族をサポートしています。

詳しくは病院ホームページをご覧ください。
<http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/>

夜中の3時 4人兄弟になったよ生まれたて赤ちゃんとおハイチーズ



— 受賞報告 —

この度、本院の宮本広子助産師が「母子保健功労者表彰（恩賜財団母子愛育会長表彰）」を受賞しました。

この賞は、多年にわたり、母子保健事業の推進に貢献し顕著な功績があった者に対して表彰されるもので、去る平成26年11月26日に愛媛県で開催された「健やか親子21全国大会」において表彰式が行われました。

宮本助産師は、本院産婦人科で助産業務に携わる中で、立会い分娩の開始に向けた準備教育や指導に尽力してきたほか、平成20年2月に滋賀県内初の院内助産所を開設した際の中心的なメンバーとして活躍してきました。

現在も院内助産所の運営を精力的に行い、さらに健康講座や学校への出前授業等住民のみなさんへの広報活動にも力を注いでいます。

表彰式の様子



宮本助産師





医療社会部だより

～訪問看護でできること、いろいろあります～
微笑（ほほえみ）のある在宅療養を目指して…

彦根市立病院訪問看護ステーション「ほほえみ」では、

「退院時期が近づき、家に帰るけどちょっと不安…」

「床ずれや創（きず）などの処置の仕方、一応習ったけど、家に帰って、こんな事できるのかなあ…」

「こんな時って受診したほうがいいのかなあ？相談できるところがあればなあ…」

など、家で療養される方とその介護者を対象に、療養するうえで必要なからだの状態の観察や看護を看護師が訪問して提供させていただきます。

訪問看護で、たくさんの「安心」と「安楽」を…

からだの状態の観察

血圧などを測り、体調をお聞きして相談にのっています。

必要時、主治医に連絡・報告をしています。

薬の管理

薬の飲み忘れがある方などにはお薬カレンダーを使ったり、薬の準備方法を工夫したりしています。

排泄コントロール

排便調節が難しい方の薬の使用法の調整を行ったり、摘便（てきべん）などで排泄を促したりしています。

点滴や注射など

血糖測定・インスリン注射や、状態によって主治医の指示があれば点滴をしています。

床ずれなどの処置

必要に応じて皮膚排泄ケア認定看護師と連携を取り、早めに適切な処置を行うようにしています。

医療処置

人工肛門のパウチ交換や人工呼吸器や気管切開などの管理をしています。

清潔の介助

他のサービスと調整しながらシャワーや身体拭きのお手伝いをしています。



在宅で看取りを望まれる方への訪問も行っています。

状態に応じて1日2回の訪問や土日の訪問を行うほか、土日・夜間であっても看取りや看取り後のケアもさせていただきます。お問い合わせください。



など…

【お問い合わせ先】 彦根市立病院 訪問看護ステーション「ほほえみ」TEL 0749-27-0151（直）
または 彦根市立病院 医療相談室 TEL 0749-22-6050（代）

部門紹介 職員課

● 医師の採用

- 大学や関係機関への医師招聘の働きかけ
- 諸手当の改善
- ホームページや広報等での本院の魅力の発信



辞令交付の様子です

職員採用

● 看護師の採用

- 奨学金貸与制度業務
※手厚い学業支援
- 採用試験の実施業務
※看護学校、高校へのPR

新人看護師さんの研修風景です



給与支払

- 約800名の職員給与・賃金の支払い業務
- 共済組合等への保険・年金加入業務



職員研修他

- 管理職への経営意識向上研修
- 全職員への人権研修
- 職員ユニフォームの貸与
- 職員名札作成



福利厚生

● 保育所と学童保育の利用手続き

※仕事と子育ての両立支援策

- 年中フルオープン、24時間保育(週2回)
- 春休みと夏休みの小学生児童向けの学童保育



年中フルオープンの保育所

● 職員住宅への入退去手続き

※住宅支援制度

- 病院敷地内の医師用の職員住宅
- 看護師用の近隣ワンルームマンション



病院指定の
ワンルームマンション

～彦根市福祉保健部からのお知らせ～

彦根市保健・医療複合施設「くすのきセンター」が平成25年12月に彦根市立病院敷地内に完成し、1年を迎えました。この「くすのきセンター」は3つの機能を兼ね備えた複合施設で、1つ目は「保健センター」の機能、2つ目は「休日急病診療所」の機能、そして3つ目は「医療福祉推進センター」の機能となっています。

今回は「休日急病診療所」について紹介します。



彦根休日急病診療所

彦根休日急病診療所は、湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)の日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)における1次救急(初期救急)の医療機関として、比較的軽度な症状の患者さんを対象に、内科・小児科の診療を行っています。(ただし、愛荘町においては、日曜日は町内等の医療機関の当番制となっています。)

当診療所は、市立病院敷地内の「くすのきセンター」へ移転したことで、重症化の恐れ、検査や入院の必要性がある患者さんについては、高度な医療を担う2次救急医療機関の彦根市立病院へすみやかに紹介(転送)することが可能になるなど、医療連携体制が強化されました。なお、当診療所から市立病院へ紹介(転送)した場合には、市立病院の受診に際して、紹介状をお持ちでない場合に必要となる選定療養費(2,160円)は免除されます。

近年では、「昼間は混む」とか「平日は休めない・忙しい」といった理由で、病的には比較的軽症な場合でも、休日や夜間等に救急病院を安易に利用する、いわゆる「コンビニ受診」が問題となっています。このような患者さんが増えていくと、救急医療体制の混乱や、救急医療機関の疲弊につながるばかりか、入院を要するような重症の患者さんの診療に大きな支障をきたす恐れがあります。



医療機関の役割分担にご理解をいただき、**日曜・祝日・年末年始の内科・小児科の急病の場合は、まずは当診療所をご利用ください。**

彦根休日急病診療所

診療科：内科・小児科

場所：彦根市八坂町1900番地4
(彦根市立病院敷地内くすのきセンター1階)

診療時間：午前10時～午後7時
(受付は午後6時30分まで)

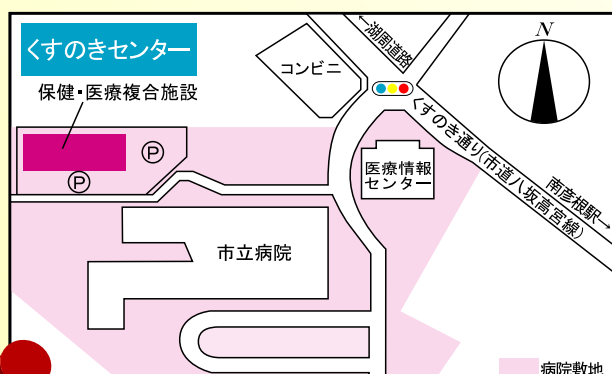
持ち物：保険証、その他(福祉医療券、お薬手帳、マスク等)

TEL 0749-22-1119

(平日の連絡先：彦根市健康推進課)

TEL 0749-24-0816 / FAX 0749-24-5870

E-mail kenko@ma.city.hikone.shiga.jp



診療予定表 (平成27年3月1日現在)

	診療科		月		火		水		木		金	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1フロア(1階)	内科	1診(総合診)	○		○		○		○		○	
		2診(消化器)	来住		仲原		杉谷		田辺		永岡	
		3診(消化器)予約制					牧野(腎臓内科)					
		4診(消化器)予約制 午後再診	永岡		杉谷		田辺		仲原		来住	
		5診(血液)予約制 午後再診	浅井		吉川		浅井		吉川		吉川	
		6診(糖尿病/内分泌) 午後再診予約のみ	矢野		黒江		矢野		黒江		菱澤	
		7診(糖尿病/内分泌) 再診予約制	松尾(膠原病)(完全予約制)		原田(第1週)・菱澤(第2-3週) 田原(第4週)・近藤(第5週午前) 原田(第5週午後)		黒江		原田		幡地	幡地
	循環器科	1診(午後は予約のみ)	綿貫	綿貫	下司		中野		日村(第1-3-5週) 中野(第2-4週)		日村	梶本
		2診(予約制)	日村	眞鍋	日村	中野(第1-3-5週) 佐藤(第2-4週)	池田				池田	綿貫
		3診(予約制)	宮澤		ベースメーカー外来(第1-3週)	宮澤			下司			
2フロア(1階)	脳神経外科	1診(予約制)	金子(予約のみ)		中久木		井坂		福井		金子(予約のみ)	
		2診	中久木		中島		福井		中島		井坂	
	神経内科	1診(午後は再診予約制)	玉木/十川		樽野/榊田		中谷/十川		吉永		江川	
		1診初診	堀		河村		福田		角田		光石	
	整形外科(午後診なし)	2診(関節外来(予約制))					秋山(第4週のみ)					
		3診再診(予約制)	福田		角田		光石		堀			
		4診再診(予約制)					角田(膝関節)					
3フロア(2階)	形成外科	1診	笹尾		笹尾		堀内		堀内		伊藤	
		2診	伊藤		堀内		伊藤		笹尾			
		予約再診			伊藤/笹尾/堀内		伊藤/笹尾/堀内 褥瘡外来・創傷外来					
	皮膚科	1診(午後は再診予約のみ)	山本		寺村		山本		寺村		山下	
		2診(午後は再診予約のみ)	山下		山本		山下		山本		寺村	
		3診(爪外来)予約制					山下					
	呼吸器科	1診	林(第2-4週)		金田		林				岡本	
		2診	月野		禁煙外来(9:30~11:00)完全予約制		渡邊		月野		渡邊	
	心療内科 緩和ケア科	1診(完全予約制)					西山(初診)		西山(15時まで)			
		予約制			黒丸						黒丸	
	外科	1診(初診)	赤松		龍見		赤松		寺村		安田	
		2診(再診)	大石		安田		寺村		平田		赤松	
		3診(再診)			岡村		切手		岡村		龍見	
		乳腺外来(予約制)					○					
4フロア(2階)	泌尿器科	1診	沖中		沖中		長谷		馬場		長谷	
		2診	長谷		成田		多和田		沖中		馬場	
5フロア(2階)	眼科	1診	寺尾		中井				日村		日村	
		1診(紹介外来)	山田		前田		林/平井(隔週交替)		山田		前田	
	歯科 口腔外科	2診	林		平井		前田		平井		林	
		3診(予約のみ)	山本				山本		山本		山田	
		インプラント外来(完全予約制)					○(第2-4週)		金山(第1週のみ)		○(第1週のみ)	
		顎関節外来(完全予約制)			村上(第2週)							
		口腔衛生指導(完全予約制)			○						○	
		口腔腫瘍外来(完全予約制)			○(第1-3週)							
		外来手術(完全予約制)			○		○				○	
		口腔機能管理外来	○		○		○		○		○	
		口腔異常感外来(完全予約制)					○					
	耳鼻いんご科	1診	片岡		片岡		片岡		片岡		片岡	
6フロア(2階)	小児科	1診(午後は予約外来)	石上	西島	石上	神経外来 薬屋(第2-4週)	神谷	アレルギー外来 石上(第1-3週) 内分泌外来 大田(第2-4週)	西島	梅原(第1-3-5週) 腎臓外来 澤井(第2週) 奥田(第4週)	石上	心臓外来 神谷(第1-3-5週) 西島(第2-4週)
		2診(午後は予約外来)	西島	安部	安部	神田	神田	神谷	神田	石上	神谷	アレルギー外来 石上(第1-3週)
		3診	安部		梅原				梅原	梅原(第2-4週)		
		健診センター								予防接種 神田		予防接種 安部(第1-3-5週) 石上(第2-4週)
	産婦人科	2診(9:30から診察開始)					宇田				堀川(第1-3-5週) 非常勤交代制(第2-4週)	
		3診(9:30から診察開始)	阿知波		阿知波		阿知波		阿知波		阿知波	
1階	放射線科	画像診断外来					河上					
地下	放射線治療		井口								飯塚	

※診察受付時間は、初診・再診 午前8時から午前11時まで(予約の方は除く) ※神経内科・整形外科は、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。
※歯科口腔外科の再診は、予約制とさせていただきます。 ※歯科診療は応急処置のみです。 かりつけ歯科医院を受診してください。 ※「○」印は同科医師で交替。

院内季節の花だより



花の名前：ガザニア
(熟草菊)
原産国：南アフリカ
花言葉：あなたを誇りに思う
咲き場所：玄関前
フラワーポット
開花時期：5～9月



花の名前：カランコエ
ウェンディー
原産国：マダガスカル島
花言葉：幸福を告げる
咲き場所：救急入口
アプローチ
開花時期：3～5月



花の名前：カラー
原産国：南アフリカ
花言葉：素敵な美しさ
咲き場所：玄関左手横欄
のガーデン
開花時期：4～7月



花の名前：シラー・
ペルビアナ
原産国：ヨーロッパ
花言葉：多感なこころ
咲き場所：玄関左手横欄
のガーデン
開花時期：5～6月



花の名前：ランタンキ
ュラス(花金鯱花)
原産国：ヨーロッパ南東部
花言葉：暗れやかな魅力
咲き場所：フラワーポット
開花時期：5～6月



彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882
TEL:0749-22-6050 FAX:0749-26-0754
http://www.municipal-hp.hikone.shiga.jp/

外来受付時間:

午前8時から午前11時(予約診は午後4時まで)
休診日:土曜日、日曜日、祝日および年末年始